

第62回糸東会全国選手権大会 競技規定

(公財)全日本空手道連盟 競技規定・審判規定並びに糸東会競技規定・審判規定にて行う
糸東会競技規定・審判規定

組 手 競 技

- ① 競技時間 幼児・小学生・中学生・シニア 1分30秒 (正味時間)
少年・一般 2分 (正味時間)
- ② 勝 敗 **6ポイント差**又は時間終了時に得点の多い方
得点数が同じ場合は、先取した方を勝者とし、先取が無い場合は判定
団体戦に於いては、勝者数の多い時点で終了 (ただし、初戦は全員行う)
- ③ 競技方法 個人戦・団体戦共にトーナメント方式とする
3位決定戦・敗者復活戦は、行わない
- ④ 体 重 別 一般男子個人戦のみ採用
- 67kg級 67kg以下
- 75kg級 67kg以上～75kg以下
OPEN フリー
- ⑤ 安 全 具 **全ての安全具は、全空連指定品、もしくはWKF指定品を装着すること**
・ニューメンホー(V以上) **全員着用 (マウスシールド必須)**
・マウスピース 任意
・拳サポーター 全員必着
小学生・幼児:赤・青の拳サポーターを推奨する(赤・青のリバーシブル品もOK)
中学生以上:赤・青の拳サポーター
・ボディプロテクター 男子 幼児・小学生・中学生・少年
女子 全員
空手衣の中に着用 of 事 ・ シニア男子の装着は任意とする
一般男・女のボディプロテクターはWKF品を推奨(全空連タイプの仕様も可)
・セーフティーカップ 男子 全員
但し、小学2年生以下は監督判断により任意とします
・インステップガード **全選手必着**
・シンガード **(高体連指定品・全空連指定品・WKF指定品)**
※大人の方に於いては、WKFタイプに限定する(足指先を覆う事)。
安全具が不備の場合は出場出来ません
- ⑥ 帯について 全選手、各自が用意した赤・青の帯を着用する

形 競 技

- ① 演 武 形 別紙の通り (第62回 糸東会全国大会 指定形・得意形)
形競技についてはビデオから大きく外れる演武をした場合は、反則負けとする。
例 公相君大・小、四方公相君の飛び跳ねるところ等。
(但し、二十八歩と松村ローハイについては平成18年発行の糸東流空手形全集第2巻によるものとする。)
(平安の形に於いては、全空連発行の空手道形教範基本形掲載の基本形Ⅱ平安初段～5段の通りとする)
- ② 競技方法 ・ベスト8まで(参加人数によってはベスト4まで):トーナメント方式
2名同時に演武する
・決勝戦:点数制方式 1名ずつ演武する
- ③ 勝 敗 **予選(ベスト8または4)は旗判定・決勝戦は点数にて決定する**
3位決定戦・敗者復活戦は、行わない
- ④ 帯について 全選手、各自が用意した赤・青の帯を着用する